

令和元年5月吉日

関東甲信地区各都県教育委員会教育長 様
同 各市町村教育委員会教育長 様
同 各 学 校 校 長 様
同 関 係 各 位

第43回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会
東京大会 会長 刀根 武史

第43回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 東京大会（第一次案内）

新緑の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の研究協議会を下記の通り開催いたします。近年、外国語教育の重要性が高まると共に、指導の一層の充実が求められております。さらに、新学習指導要領の全面実施に向けて、小・中学校においては移行措置への取組を含め、様々な準備が進められているところでもあります。東京大会では、「主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成～新学習指導要領全面実施に向けて～」を研究主題として、英語科教員の研修と活躍の場が構築できればと考えております。多くの皆様の御参加をお待ちしております。

1 趣 旨

これまでの英語教育の実践並びに英語教育の現状を見直し、英語教師自らの資質の向上と授業の改善・充実を図り、関東甲信地区英語教育の発展に寄与しようとするものである。

2 主 題

主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
～新学習指導要領全面実施に向けて～

3 期 日

令和元年11月15日（金）

4 会 場

(1) 全体会場

国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1（小田急線参宮橋駅下車徒歩約7分）

(2) 分科会場

国立オリンピック記念青少年総合センター 各研修室
第1分科会 東京（東京都中学校英語教育研究会 研究部）
第2分科会 東京（東京都中学校英語教育研究会 調査部）
第3分科会 埼玉、山梨、茨城、群馬
第4分科会 栃木、千葉、神奈川、長野

5 日 程

9:10	9:40	10:20	11:30	13:00	14:15	14:35	16:35	
受 付	開 会 行 事	基 調 提 案	記 念 講 演	昼 食	公 開 授 業 指 導 ・ 講 評	移 動	分 科 会 ・ 研 究 協 議	閉 会 行 事

○全体会記念講演

講 師： 青山学院大学 教授 木村 松雄 氏

○公開授業

授 業 者： 品川区立荏原第六中学校 指導教諭 岡崎 伸一 先生

指導助言者： 東京家政大学 教授 太田 洋 氏

6 主 催

関東甲信地区中学校英語教育研究協議会
東京都中学校英語教育研究会

7 共 催

山梨県中学校英語教育研究会	千葉県教育研究会英語教育部会
茨城県教育研究会英語教育研究部	神奈川県公立中学校教育研究会英語科部会
群馬県小学校中学校教育研究会中学校英語部会	長野県英語教育研究会
栃木県中学校教育研究会英語部会	埼玉県英語教育研究会

8 後援（申請予定）

文部科学省 山梨県教育委員会 茨城県教育委員会 群馬県教育委員会
 栃木県教育委員会 千葉県教育委員会 神奈川県教育委員会（前年度実績）
 長野県教育委員会 埼玉県教育委員会 東京都教育委員会 品川区教育委員会
 東京都中学校教育研究会 公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部

9 分科会テーマ・提案都県

	テーマ	提案都県
第1分科会	「語い」	東京
第2分科会	「評価・テスト」	東京
第3分科会	「読むこと、書くこと」	埼玉、山梨、茨城、群馬
第4分科会	「聞くこと、話すこと」	栃木、千葉、神奈川、長野

10 主題設定の理由

グローバル化が急速に進む中で、外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成は益々求められるところとなっている。特に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、多くの外国人の方が日本に来ることで、外国人との交流の機会がこれまで以上に増えることと思われる。

このような中、中学校においては令和3年度に全面実施となる新学習指導要領への具体的な移行期間への対応を迫られており、適切な移行措置への対応で、生徒の外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成に十分に努めていかねばならない。

そこで学習指導要領における外国語（英語）科の目標に照らし、東京都中学校英語教育研究会ではこれまでの実践を基に、「グローバル化に対応した英語教育の実践」を研究のテーマとして研究を進

めてきた。特に、東京方式少人数・習熟度別指導を実施する中で、グローバル化に対応し、国際共通語としての英語力向上をめざし、コミュニケーション能力を育成する指導法と評価について、研究授業やワークショップ等を通して研究を進めてきたところである。

これまでの研究実践を受けて、東京大会では「主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」を研究主題とし、この主題に迫るため、3年間を通して育てたい生徒像の具現化に向け、①「語い」、②「評価・テスト」、③「読むこと、書くこと」、④「聞くこと、話すこと」の4点を研究の中核ととらえ分科会のテーマとした。また、今後、着実に新学習指導要領の全面实施に向けての取組が各校において推進されるよう「新学習指導要領全面实施に向けて」を副題とした。

11 各分科会の概要

第1分科会「語い」指導の充実

新学習指導要領では、小学校で600～700語程度、中学校で1600～1800語程度の語を指導すると示されている。小学校から中学校卒業までに指導する2200～2500語程度の語（語いリスト）指導の充実について研究する。

第2分科会「ペーパーテスト」における評価の充実

新学習指導要領での評価の観点である「知識・技能」及び「思考・判断・表現」を定期考査などのペーパーテストでいかに評価していくか、また、「Can-Doリスト」を基にした指導と評価が一体となったテストの在り方について研究する。

第3分科会「読むこと、書くこと」の言語活動の充実

聞いたり読んだりして理解したことを基に、思考・判断したことについて、新たに読み取ったり書いたりすることを通して自分の考えや気持ちなどを主体的に表現する言語活動の充実について研究する。

第4分科会「聞くこと、話すこと」の言語活動の充実

聞いたり読んだりして理解したことを基に、即興で事実や意見、感情等を伝え合いながら、会話を継続・発展させる言語活動の充実について研究する。

12 参加費

参加者1名につき4,500円（大会要項、資料代等を含む）

13 参加申込み

参加の申込みについては、第二次案内にて御案内いたします。（9月中旬頃発送予定）

14 お問い合わせ先

第43回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 東京大会事務局
葛飾区立水元中学校 校長 遠藤 哲也
〒125-0032 東京都葛飾区水元3-20-1
電話 03-3607-4296 FAX 03-5699-1619
電子メール tetsuya.endou@katsushika.ed.jp